



よみがえるグリーンライン・番外編 戦うNPO「イノシシには負けない」その1

～私とイノシシとのかかわり～



グリーンラインを愛する会
理事長 丸山 孝志

阿部さんから「ここ1年くらいのイノシシとの闘いをまとめた文章も何話分か読んでみたい。」とのリクエストをいただきました。

「もう読者の皆さんも阿部さんも、私の話に付き合うのもお疲れなのではないだろうか?」とも思い、何より私が「もう気力も限界かな?」と思っていたのですが、やさしい声をかけられると断れないのが私の弱点です。お言葉に甘えて、しばらくイノシシにまつわる話をさせていただきます。

イノシシに対しては、甚大な被害を蒙っておられる農業者の方々のみならず地域住民の方々も大いに危機感をお持ちだと思います。

福山グリーンラインだけでなく、山間部の道路はどこでもイノシシは日常的に出没し、めったにニュースにはなりません。衝突事故も頻発していますし、最近では市街地での出沒情報も珍しくなくなりました。

私たちグリーンラインを愛する会が関わる福山グリーンラインの沿線では、ほとんどすべての公園や広場が被害を受けています。正直すべての場所で復旧作業や抑止対策を行うことは不可能な状態です。

その中でも特に「県立後山公園」が最も甚大な被害を蒙っています。園地いたるところを掘り返され、復旧してはまた掘り返されるという事を、年に何回も繰り返し、本会の復旧に要する費用も毎年数十万円に上ります。

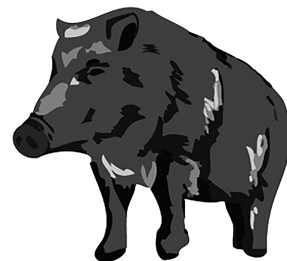
しかし、来園者の皆様の安全を守り、快適に過ごしていただくためには、簡単にあきらめる事も出来ません。

「復旧作業にいたずらに費用を費やすのではなく、なんとか被害を少なくすることを考えなければ。」

そう考えて、私たちは数年前から様々な抑止対策を行ってきました。

もちろんそのためにはイノシシに関する様々なことを学ぶ必要がありました。

「イノシシの生態と行動など、イノシシという動物に関する知識」「どうしてイノシシは人間の領域に侵入するのか?」「イノシシの被害や危険性」「イノシシ被害抑止のための様々な対策とその効果や課題」などなど…本当にたくさんのことを学びました。



その学びをもとに、様々な対策を試行錯誤し、そこからまた貴重な体験を得る事が出来ました。

そうした事をもとに、以下のような順序で皆様にお伝えしようと思います。

2回目、私とイノシシとの関わり(その2)

(福山グリーンラインとその沿線のイノシシ被害)

3回目、グリーンラインを愛する会の被害対策(後山公園のイノシシ被害、復旧作業と・抑止対策)

4回目、みなさんそれぞれ苦勞されています。(対策の難しさ、管理の大変さ)

5回目

(イノシシ被害抑止の様々な方法について) などなど。

私のことですから、思い付きで多少変わると思いますが、その点をご容赦ください。

